

研究構想 (H29.5月現在)

教育課題モデル校 「小学校の外国語活動及び教科としての外国語指導の充実について」

【研究の背景】

東京オリンピック・パラリンピック開催が決まり、外国語教育の充実は切迫した課題である。平成32年度学習指導要領全面実施に向けて、教育課程の整備と教員の指導力向上のために、新宿区のモデルとなる効果的な時間設定や授業の提案をしていく必要がある。

【外国語活動の目標】(案)

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指す。

【モデル校共通の取組】

◆英語力向上・教育課程の充実

◆学校体制としての指導力の向上

【取組目標】

- 1 児童が主体的に、活動に取り組むこと。
- 2 効果的な時間設定や教材を検証すること
- 3 英語力・指導力向上のための研修を行うこと
- 4 校内の組織的な対応力を高めること

【児童の実態】 アンケート実施後修正

- ① 英語を使うことを楽しんでいる。
- ② 活動が「学び」につながらない。
- ③ 英語を使う必要性を感じにくい。

【指導の課題】 3月末の調査より・アンケート実施後修正

- ① 指導経験の不足による不安感
- ② 教師の英語力
- ③ 外国語活動に関する理解の不足

【めざす児童像】

低：基本的な表現に親しみ、友達とのコミュニケーションを楽しもうとする児童

中：基本的な表現に慣れ親しみ、相手を意識しながらコミュニケーションを図ろうとする児童

高：相手を意識しながら主体的に外国語を使って、コミュニケーションを図ろうとする児童

【研究主題】

児童が、すすんで伝え合う外国語活動・外国語科の指導の工夫

- ※場や活動の設定
- ※相手に配慮
- ※言語や文化の尊重

内容

- ・次期学習指導要領を踏まえた研究
- ・教育課程の提示
- ・場の設定、指導の工夫・実践
- ・短時間学習の効果的な実施方法・内容の検討
- ・日常的に英語に触れ合う機会の充実
- ・教師の英語力向上

手立て

- ・児童・教員アンケートによる実態と変容の把握
- ・講師や推進リーダーによる研修
- ・継続的な実技研修（プチ実技）
- ・低・中・5年・6年の授業研究
- ・教員同士の英語力向上
- ・校内環境の整備（掲示・放送等）
- ・効率的なALTとの打ち合わせ